

組織部速報

2016年10月14日
No. 18

熊本地震発生から半年 熊本～川崎間のがれき輸送実施中！

熊本地震によって発生した81万トンに及ぶがれきの処理を進めるため、9月18日より神奈川県川崎市の処理センターに向けた鉄道輸送（熊本操～川崎貨物）がスタートしました。計画では2018年6月まで実施され、鉄道貨物輸送が熊本の復旧・復興に大きく貢献することになります。

熊本地震のがれき、鉄路で川崎へ輸送 初の県外処理

北村玲奈 2016年9月20日 11時19分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷

167

list

7



地震で発生した木くずなどのがれきを詰めて熊本から運ばれたコンテナ=20日午前9時55分、川崎市浮島処理センター、北村玲奈撮影



[PR]

熊本地震の際に熊本市内で発生したがれきの木くずが20日、1千キロ以上離れた川崎市の市浮島処理センターに鉄路を使ってコンテナで運ばれた。両市が結んだ協定に基づくもので、熊本市内のがれきを県外の自治体で処理するのは初めて。

特集:あなたの街の揺れやすさを住所でチェック →

がれきの中身は、主に倒壊した家屋の材木など。この日は四つの専用コンテナで計約20トンが搬入され、焼却処理用のピットに移された。輸送にはJR貨物が協力した。川崎市処理計画課によると、阪神淡路大震災、新潟中越沖地震の際も被災地のゴミ処理を受け入れた実績があるという。

熊本県全体では通常の3～4年分に当たる195万トンの災害廃棄物の発生が見込まれ、その処理が課題となっている。川崎市は2018年6月末までに、1万トンの受け入れを予定している。(北村玲奈)

組合員は安全輸送・社会貢献に努めています！